

平成26年 年頭の挨拶

課題山積の中、今年は攻めて変革の年に

全日本一般缶工業団体連合会 会長
西日本一般缶工業協同組合 理事長

渋谷 明彦

年 頭 挨 拶



新年明けましておめでとうございます。皆様には、ますますご健勝にて新年をお迎えになられたことと存じます。

また、平素は当連合会に對しまして多大なるご支援とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、昨年はアベノミクス効果で円高も是正され日本経済の成長率が「マイナス」から「プラス」へと転換いたしました。残念ながら、私たち一般缶業界では未だその効果を実感するには至っておりません。

年を追うごとに一般缶業界を取り巻く状況は厳しさを増していますが、今年は攻めて、変革の年にしましょう。一般缶の「形状」「素材は」「中身は」「お客様に届くまでの流れは」「製造方法は」「小ロット、多品種の対応は」「P Rの仕方は」「リサイクルのあり方は」等々、課題はたくさんあります。

これら解決の糸口を探るため今年7月に

当連合会主催で「一般缶フォーラム」を予定しています。また、P R事業では、昨年引き続き、浮世絵をデザインしたオリジナルクッキー缶の販売を継続してまいります。お陰様で昨年10月から始めた第1弾は、初回の5千缶を完売することができました。ご協力をいただいた皆様には深く感謝申し上げます。この話題が著名な経済誌や新聞等に取り上げられ、注目されています。今年も第2弾の販売を予定しており、引き続きP R事業を通じて需要喚起が図れるよう、

年 頭 所 感

経済の好循環に向け、新たな二歩を期待

経済産業省製造産業局
鉄鋼課長 山下 隆一

平成26年の年頭に当たり、謹んでお慶びを申し上げます。

昨年を振り返りますと、アベノミクスが始動し、円高修正、財政政策、成長戦略の効果により、建設・土木を中心に経済が回復基調となり、鉄鋼業を含め製造業にも持ち直しの傾向が見られました。総じて言えば、上向きの1年であったのではないかと思います。

一方で、アジアを中心に鉄鋼業の生産能力の拡大は続き、過剰供給状況は一段と悪

全力を尽くしてまいります。

年初に当たり、この業界で働いて良かった、誇りであると思えるような会社経営を皆でやっていきましょう。年末にはウマくいったと、ウマイ食事、ウマイ酒に酔いしれましょう。良い製品、造るよろこび、届ける誇りをモットーに、もの造りのロマンを追い続けましょう。

昨年はお伊勢さんで「式年遷宮」が執り行われました。昔からその翌年は「おかげ年」と呼ばれ、景気の良い年と言われています。今年一年が皆様にとりましてすばらしい年でありますよう祈念して新年の挨拶といたします。

化しています。韓国・中国等とのグローバルな競争を行いつつ、国際的に蔓延しつつある保護主義に對峙する重要性も高まってきております。

こうした中、鉄鋼業界が今後も継続的な成長を実現していく上で、内需、外需双方の拡大が求められます。鉄鋼業だけでなく、鉄鋼の重要な供給先である我が国製造業、我が国産業がより強靱となるよう、高齢化等の課題先進国として、新たなステージに向けたチャレンジを通じた成長を追求するとともに、海外の成長を広く、積極的に取り込んでいくことが必要です。

鉄鋼業の課題の第一は、「徹底的な経営基盤の強化」です。安全操業への配慮を大前提とした上で、国際競争力の維持・強化を図るべく、生産・流通体制の集約化・効率化によるコスト削減や、高度な製品開発の加速化が重要です。

昨年は、先端的な設備投資が行われる一方で、生産の合理化や組織の再編など、経営効率化の動きが見られました。コスト競争力強化のためには、こういった生産・流通体制の効率化に向けた努力は欠かすことができません。皆様方のこうした動きを円滑化するため、昨年、産業競争力強化法や生産性向上設備投資促進税制、事業再編促進税制などを整備したところです。今後とも、競争力を支えるため、事業環境のイコールフィッティングの実現等に向けて取り組んでまいります。

第二に、「秩序ある自由貿易体制の維持」です。グローバルな大競争の下、ユーザー産業等のニーズに的確にこたえていくために、事業のグローバル展開が重要となる中、アジアを中心に鉄鋼製品に対するアンチダンピングやセーフガード措置の発動、強制規格の導入など保護貿易的措置が増加しています。また、原料の安定的な確保、グローバルな事業環境整備、アジア地域における過剰生産能力問題への対応などにおいても、未だ多くの課題を抱えています。引き続き、二国間対話等の様々な取り組みを通じて、秩序ある自由貿易の重要性を各国に訴えるなど、こうした問題の解決に取り組んでま

います。

第三に、「技術的優位の確立」です。我が国の鉄鋼業界は高い技術力を背景に、自動車向け高張力鋼板等で高いシェアを誇っています。中国・韓国への追い上げの中で、今後もこの地位を確固たるものにするためには、絶え間なく技術開発を実施することが必要です。現在、自動車等の輸送器機の抜本的な軽量化を可能とする革新的新構造材料の開発を、鉄、非鉄金属、炭素繊維等の分野で素材横断的に実施しています。この取り組みにより、鉄鋼メーカー等の素材メーカーに加えて、最終製品メーカーの国際競争力を強化し、我が国産業全体の成長を図ってまいります。

最後に、「省エネ・CO₂排出量削減の促進」です。これまで鉄鋼業界は省エネ・CO₂排出量削減のために血のにじむ努力を重ね、めざましい成果を上げてきました。この結果、省エネ・CO₂排出量削減の余地が少なくなっています。一方で、電力料金の上昇や地球温暖化対策のために、更なる取り組みが必要になると見込まれます。このような中で、鉄鋼業における省エネ・CO₂排出量削減を促進するために、省エネ補助金等を通じ積極的な省エネ投資を支援するとともに、環境調和型製鉄プロセス技術開発等を確実に実施します。加えて、世界全体でのCO₂排出量削減のために、我が国の優れた省エネ技術や我が国初の国際標準であるISO14044の海外への普及に官民を挙げて取り組んでまいります。

経済産業省としては、これら4つの課題への挑戦に特に力を入れることにより、政府の目標とする「経済の好循環」を実現すべく尽力してまいります。皆様におかれましては、これら諸課題への対応に加えて、企業収益の改善を設備投資や賃金上昇、関連中小企業との取引条件の改善などに繋げ

専門委員会を本格始動させ業界活性化

東日本一般缶工業協同組合

理事長 定村 光

年頭挨拶



新年明けましておめでとうございます。

皆様方には、ご健勝で新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、自民党政権になり株高、円安等が進み、経済発展の期待が高まった一年でした。一方、領土問題、歴史認識をめぐる中国、韓国との関係悪化等、日本を取り巻く環境も大変厳しいものとなりました。経済は輸出を中心に伸びましたが、いまだ全体に及ぶだけの力強さは感じられなく、当業界を取り巻く環境は大変厳しい状況にあると認識してい

ていただくことにより、この経済の好循環に向けた一歩を踏み出していきたいと期待しております。

最後に、鉄鋼業界のますますのご発展と、皆様方のご健康、ご多幸を祈念いたしまして、私の新年のご挨拶といたします。

ます。

以上を踏まえて、平成26年の当組合の活動といたしましては、第一にPR事業の継続と強化であります。特に昨年は全日本一般缶工業団体連合会が10月に企画製作したオリジナルクッキー缶につきまして、初回の5千缶を完売することができました。ご協力いただいた皆様には感謝申し上げます。

申すまでもなく、このオリジナルクッキー缶の販売活動は一般缶を容器として使用している商品を広く世の中に再認識していただく方策のひとつとして企画したものですが、本年も連合会と連携して第2弾を計画、販売する予定です。引き続きご協力をお願い申し上げます。

第二は、昨年発足した5つの専門委員会を本格化させて、組合としての活動内容を高めていきます。具体的には、年2回ほどシンポジウムを開催し、当業界の抱える問題を外部の方々を交えて意見交換しながら、

組合員の皆様に役立つ情報を提供する予定です。また、一般缶の海外市場の調査と報告を今年度は是非、実施したいと思っております。そのほか、学校教育と連携した取り組み等、様々な角度から業界活性化のために活動していく所存です。どうか組合員の

皆様のご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

最後に本年が業界にとっても、また皆様にとっても「前進の年」であることを祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。

手綱をしつかり握り締め、落馬しない運営を

中部製罐工業協同組合

理事長 池田 祥三

年頭挨拶



新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様、並びに当業界の関係各位におかれましては、つつがなく新年をお迎えになられたことと、謹んでお慶び申し上げます。

旧年中は当組合の運営につきまして何とかとご高配を賜り厚くお礼を申し上げます。

また昨秋にかけては全日本一般缶工業団体連合会での初の試みとなりました、オリジナルクッキー缶への購入協力等、多方面にわたりご支援いただきましたありがとうございます。

さて、一昨年暮れに誕生した安倍新政権

はご承知の通り、円高を是正し輸出産業を中心に経済に活況をもたらしました。しかし、円安は反面、輸入価格の上昇を意味し、新たなコスト要因にもなりました。特に火力に頼る電力は相当なコストアップといわれています。そのことは我々の業界にも電気料金やガス料金の値上げという形で波及し、ブリキの値上がり以外の新たなコスト上昇要因となりました。

一方、消費となりますと株式市場の活況によって資産効果が出始めているようですが、本格的な消費行動の喚起には至ってないように感じます。4月からの消費税率アップ前の駆け込み需要が多少あっても、その反動減は覚悟しておいたほうがよいかもしれません。

数年間続いたブリキの値上がりに伴う製品価格への転嫁によって、確実に缶市場は失われています。こんな環境下で、連合会では今年も需要喚起の方策を手探りで作ろうとしています。我々は、手綱をしつかり

と握り締め、落馬しないように、また日常的に缶の良さを事あるごとにアピールして、年末にはアベノミクスが本場に我々の業界にも奏功するような年になりますようお願いいたします。

最後になりましたが、会員会社・賛助会

「甲午」の強いエネルギーに上手に乗ろう

全日本金属印刷工業協同組合連合会

会長 中田 正和

年頭挨拶



新年あけましておめでとうございます。

一般缶組合の皆様及びその関連業界の皆様にはご健勝にて、新年を迎えられたことと心からお慶び申し上げます。

さて2014年は、どんな年になるのだろうかかと、がらにもなく暦による「陽明学」なるものを紐解いてみました。

今年は十二支では午年であり、十干においては甲（きのえ）でありますので、「甲午」（きのえうま）という年になるそうです。火災が多いと言われている「丙午」（ひのえうま）とは別ものです。

甲（きのえ）は、十干のトップバッター

員会社並びに関係する全ての方の更なるご指導・ご支援を当組合に賜りますようお願い申し上げます。また、皆様方の今年ますますのご活躍とご多幸をお祈り申し上げます。して新年の挨拶いたします。

です。甲（きのえ）という字は『草木の芽が殻を破って頭を出した象形文字』であり、「旧体制が破れて、革新が始まる」という意味だそうです。そして、午は陽の極地であるけれども「一陰が陽を冒して上昇する象」。

正午は太陽が最も高い位置にありますが、正午を過ぎると太陽は沈んでいくわけですから、午（うま）は天井を打った後で勢いが落ちていくということです。ところが、今回の午はかなりエネルギーがあるそうです。

木、火、土、金、水の五行では甲（きのえ）は木で、午（うま）は火の意味。木生火で、午は甲からエネルギーを貰い、かなりの暴れ馬になるとの事。

前回の甲午（きのえうま）である1954年は、日本の高度経済成長時代が始まった年です。1954年は戦後の復興期であり、国全体として経済成長へと向かっていった時代でもあります。

2014年も陽明学においては、甲午(きのうま)のエネルギーが高く、これに上手に乗っていただければ良いのですが、一歩間違えると落馬して大怪我をすることもあると。何とか暴れ馬を上手に乗りこなした

いものです。皆様方におかれましては、暴れ馬を上手に乗りこなして安全に一年を過ごされますことを祈念いたしまして年頭の挨拶とさせていただきます。

缶の需要拡大に努め、さらなる躍進を共に

東京都鍼力地金商業協同組合

理事長 國分 滋



年頭挨拶

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

当組合も今年は60周年を迎えることとなり、人間に例えますと還暦ということになります。この長きにわたり活動を続けることが出来たのも、偏に一般缶工業協同組合の皆様のご支援の賜物と、厚く御礼申し上げます。

さて、日本経済を見ますと、一昨年の安倍新政権発足以来、アベノミクスによる経済政策が効を奏し、株高・円安といった具体的な形として表れてきております。また、

巷では景気も上向き、高級品の売れ行きが順調であるとの報道を目にします。このよう

な景気の底上げが庶民の生活に繋がりが、手土産を買うときにも、紙箱よりチョット高級な『缶製品』の購買に繋がってくればと期待する次第です。しかし、高級感だけでは長続きしないのではと思われま

す。やはり金属容器の持つ機能が消費者に良く理解されることが重要だと思われま

す。利便性が優先される社会で本当に良い物とは何かを訴え続けていく必要があります。そのためにも、エコプロダクツをはじめとする各種の展示会に参加することは大変意義のあることと理解しております。

還暦を迎える今年は60年の経験と歴史を振り返り、流通としての機能を改めて見直すと共に、いかにすればより一層皆様のお役に立てるか考え直す節目であります。諸外国には見られない日本独自の『鍼力問屋』機能。ブリキメーカーさんと一般缶組合の皆様の間で短納期対応や豊富な品揃えといったいろいろと果たせる機能がありま

す。皆様と一緒にあって、缶の需要拡大に努める所存でございます。これからも引き続き私ども問屋にご用命下さるよう、お願い申し上げます。本年が一般缶組合の皆様にとって飛躍の年となるよう祈念して、新年の挨拶とさせていただきます。

現状打破に向け、一丸となり大きな動きを

一般缶友会

会長 齋藤 光由



年頭挨拶

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様におかれましては、日頃より格別なるご高配をいただきまして厚く御礼申し上げます。

2014年は、「甲午(きのうま)」の年でございます。前回の甲午は1954年。神武景氣が始まり、日本の高度経済成長が始まった年だったそうです。「甲」は、春になり新芽が古い殻を打ち破り力強く頭を出すことを意味するそうです。そして、「午」は乗りこなすことが困難なことから、良い面悪い面の両方に転じる可能性があるとい

う意味を持つそうです。まさに、良くも悪くも大きな動きがある年なのかも知れません。

私どもの一般缶業界の現状はいかなものでしょう。必ずしも樂觀できる状況ではないと思われま

す。残念ながら「缶ではなくては」の時代は過ぎ去ろうとしております。子供達は缶切りの存在すら知らないという現実があります。今こそ、会員の皆様と共に現状打破の風穴を開けるために一丸となりま

す。アベノミクス、TPPなど、国内外の変化のスピードが顕著となっていることを実感する毎日でございます。こうした変化に対応できるよう、まずは足元からの見直しを着実に行うことが求められていると言えます。



「『キャンパックイノベーション』を合い言葉に」

年頭の挨拶を聞く参加者



主催者の挨拶をする渋谷会長

「『キャンパックイノベーション』を合い言葉に邁進していききたい。日本の景気はアベノミクス効果でいい方向に進んでいるが、50年前に東京オリンピック開催、東海道新幹線開通で活気が出たように、もの造りでもう一度元氣な時代を取り戻そう」と挨拶した。

来賓を代表し、経済産業省製造産業局鉄鋼課の山下隆一課長が「わが国経済は実質GDP統計から見ても一年前に比べ大きく好転している。これから先、本格的な軌道に乗せるには企業利益を取引先や従業員に還元し新たな投資、消費にかえていくという経済の好循環を作り、4月からの消費増税分もきちんと転嫁していくことが必要である。渋谷会長が言われた『キャンパックイノベーション』のとおりに、皆様方自身が変革していく努力に対しては最大限サポートしていく」と挨拶した。

次いで新日鐵住金株式会社ブリキ営業部ブリキ国内室の新谷泰久室長が「業界を越えた力を結集し、お客様のニーズを俯瞰しながら一般缶の魅力を高めていく年にしたい」と挨拶し、乾杯の音頭をとった。このあと、全日本一般缶PR活動推進協議会の広浜泰久委員長が、4月に販売予定の第2弾オリジナルクッキー缶について、葛飾北斎の「富嶽三十六景神奈川沖浪裏」をデザインした缶を両手に掲げながら紹介し、購入協力を呼びかけた。歓談ののち、定村光副会長の中締めで散会した。



来賓の挨拶をする山下課長



乾杯で挨拶をする新谷室長



第2弾オリジナルクッキー缶を披露する広浜委員長



中締めで挨拶をする定村副会長



討議と報告で、業界の課題を明確化

全日本一般缶工業団体連合会は、10月4日、東京・千代田区神田佐久間町の第7東ビル会議室で、第38回全国流通委員会・部会協議会を開催した。今回は東日本組合の当番で東日本、西日本、中部から32名が出席した。東日本の野口事務局長の司会で進行。定村副会長が開会を宣し、渋谷会長が挨拶した。

全体会議では、各組代表による近況報告、広浜委員長による全日本一般缶PR活動推進協議会報告が行われた。続いて東日本の最上裕光流通委員長が進行説明とグループ代表の紹介を行いグループ討議に入った。第1部の「缶種別」では、①輸入を含めた鋼材の使用状況②他素材包装容器との競合問題、第2部の「総合」では、①業績向上をめざした各社の取り組み②品質向上とクレーム対策について、それぞれ討議が行われた。最後のまとめとし

て、各グループ代表から討議結果が発表された。

〈各組代表による近況報告〉

中部・池田理事長

*円高是正により第一四半期の利益が上場企業を中心に倍増している話を聞く。我々中小企業にそういう波が押し寄せてくるには相当時間がかかり、それらもさざ波程度だろう。

*名古屋地区は自動車関係で消費増税の駆け込み需要があり、街全体として結

構活気が感じられる。

*平成2年に消費税が導入されたときはバブル景気が背景にあり一般缶にも駆け込み需要があったが、今回はその恩恵は期待できない。とくに名古屋人は必要なもの以外は買わないという感覚があるので難しい。

西日本・渋谷理事長

*関西地区の4～9月期の売上げ状況は、前年同期比で98.7%で、若干持ち直している感じがする。塗料関係は好調であつたが、化学・ギフト関係は落ち込んでいる。

*一時、外国人観光客が激減した時期があつたが、今は円安のせいのでかなり増えてきたようである。

*梅田界限も以前とは違い活気があり、また阿倍野には「あべのハルカス」という超高層ビルができ、大阪は変わりつつある。

*来年はどうなるか興味がある。お伊勢さんで「式年遷宮」が執り行われた翌年は昔から「おかげ年」と呼ばれ、景気の良い年と言われているので、そうあつてほしい。

東日本・定村理事長

*東日本地区では、前半の状況は悪かつた。とくに中元のギフトが振るわず、総じてあまりいい数字は出ていない。

*今だに「缶から紙へ」の動きがあり、缶業界はデフレ基調が続いている。残念ながら廃業も出ている状況にある。

*東京は2020年夏季オリンピック・パラリンピック開催が決まったので、将来的には明るい目標ができた。東京の街も4～5年で随分変わると思う。小売りもデパートの改築・改装の効果で消費も上向き活気を帯びてくると思われ。

*東日本組合では、5つの専門委員会を中心に活動している。活路開拓委員会では海外展開について現地調査を含め研究している。

〈グループ代表〉

食品A 永野徳征(有鳥居製缶)

食品B 定村 光(寺島製缶工業(株))

食品C 清水雄一郎(大阪製罐(株))

化学A 山田裕人(エヌエス金属工業(株))

化学B 山田洋之助(株)ヒロハマ

総合1 小西康晴(生野金属(株))

総合2 加島 裕(江戸川製罐(株))

総合3 朝倉みどり(株)江東堂高橋製作所

総合4 鳥居 廣(有鳥居製缶)

総合5 相山喜美雄(水戸部製缶(株))

総合6 牧野亮太(マキノ製缶(株))

白熱した討議を行う参加者



「プレス加工のトラブル対策」に参加して

中川製罐(株) 橋本雅彦

平成25年10月22日、すみだ中小企業センターで開催された教育技術委員会企画の講習会「プレス加工のトラブル対策(第1回目)」に初めて参加しました。今まで聞けなかった事柄について学ぶことができ、また普段当たり前にしていた仕事の作業、考え方や物の見方が変わり、凄く良かったと思いました。

金型の取り付け一つにしても、色々な所に気を使いながら基本に忠実に作業しないと良い製品、均一な製品ができないこと、無理をすればするほどトラブルの原因になること、パンチとダイの平行、クランプの取り付け位置など、まだまだありますが、どれ一つを取っても適切に対処しないと良い製品はできないことが分かりました。これまでは金型を取り付けてプレスすれば毎回同じ物ができると思っていました。

一番驚いたのは、材料を「切って」いるのではなく、「割って」いるという表現でした。刃先が丸くなれば、当然バリにつながりますし、金型のクリアランスでも、バリになるのは知りませんでした。

我が社の製品は、主に抜き加工と絞り加工で生産されていますが、曲げ加工もあります。それぞれに見合った金型加工や対策をしておかないとトラブルの原因にもつな

がりますし、良品もできません。とても奥の深い仕事だと知りました。

トラブルが起こった時、色々なことを知らないに対処できないし、判断が遅れば不良品も増え、金型もおかしくなり、最悪、プレス機にも負担がかかってきます。

トラブルは起こそうと思えば起きますが、起こさないようにするには大変です。一日の生産がトラブルなく終われば、いい仕事をしたと思います。逆にトラブルが続くといい感じはなく嫌になってしま

うかも知れません。そうならな



熱心に勉強する受講者

平成26年新春 組合互礼懇親会を開催

西日本一般缶工業協同組合

西日本一般缶工業協同組合は1月14日、東心斎橋大成閣で平成26年新春の組合互礼懇親会を開催、組合員会社など14名が出席した。冒頭、渋谷理事長は「今年は甲午、平成26年、昭和から89年、大正で103年を迎えることができた。世間ではアベノミクスといわれているが中小企業にはまだ実感がありません。今年は消費税が上がることでこの一年間、気を引き締めてやって行きたいと思っている。東京オリンピックが2020年に開催されます。前回からちょうど50年になる。その年に新幹線が開通し、

この50年間無事故ということ、そのもの造りの技術は立派だと思っている。60年前の甲午では、映画では、ローマの休日、ゴジラ等、また、自衛隊の発足、アリナミンが売り出された。それから60年いろいろな事があつた。これからの一年間、もの造りのロマンを追い続け、最後には今年一年ウマくいったなとウマイ食事、ウマイ酒に酔いしれたいと思っている」と挨拶した。その後、乾杯し、なごやかに歓談が行われ、辻副理事長の中締めで散会した。

一般缶友会 平成24年度通常総会を開催

一般缶友会は平成25年8月21日、東京都中小企業振興公社会議室で平成24年度通常総会を33名の出席のもとで開催した。

二橋英之副会長の司会進行で始まり、齋藤光由会長が挨拶し、高木嗣夫副会長が出席状況報告を行った。議長に齋藤会長が選ばれ、提出された議案を審議した。

(1)平成24年度事業報告及び決算報告承認の件、(2)

平成25年度事業計画及び収支予算決定の件はそれぞれ原案通り可決された。(3)理事及び監査役補充選任の件は、高木理事、清水監査役の辞任に伴うもので、その後任者として理事に井上明氏、監査役に山田裕人氏が選任され、それぞれ就任を承諾した。

このあと理事会を開催し、井上理事が副会長に選任された旨が報告されたのち、高木前副会長が閉会の辞を述べ終了した。

4S会会議開催

西日本一般缶工業協同組合

4S会会議は、平成25年10月10日、尼崎市のホップインアミニングで開催された。関西地区の3組合（西部十八リットル缶工業組合、大阪金属印刷工業協同組合（幹事）、西日本一般缶工業協同組合）から14名が出席した。

第1議題…各組合の業界状況並びに関連諸問題に関する件

西日本一般缶工業協同組合渋谷理事長からの状況報告

*一般缶の売上げ実績、業況

・売上高は多少減少し収益にも若干影響する。

・缶から紙への移行を促されるところもある。

・消費税アップでの駆け込み需要があった後が心配である。

*鋼材動向

・鋼材は比較的安定し、落ち着いている模様。先行き不安と不透明なところがある。

*缶のPR活動

・全日本連合会の缶PR活動としてオリジナル缶の販売を行う。

*鉄鋼メーカーとの協力関係、広報、今後の一般缶組合の行事予定

第2・3議題…情報交換・その他

4S会各組合出席役員により各業界の現状、課題の報告内容、活動についてランダムに情報交換を行った。

東京都中央会会長表彰を受賞

東日本一般缶工業協同組合

定村理事長、広浜副理事長、志賀副理事長

平成25年10月9日、東京丸の内・東京商工会議所ビル内国際会議場で、東京都中小企業団体中央会主催の表彰式が開催された。この表彰式は長年にわたり中小企業組合の向上発展に寄与した功労者に同会長が表彰するもの。今回、東日本一般缶工業協同組合の定村光理事長、広浜泰久副理事長、志賀正人副理事長が受賞し、大村功作中央会会長から表彰状が授与された。また、定村理事長が組合功労者130名、優良専従役員41名を代表して謝辞を述べた。



左より、広浜副理事長、定村理事長、志賀副理事長



受賞者を代表して大村会頭に謝辞を述べる定村理事長

・大阪金属印刷工業協同組合より印刷版のCTP化移行について
・西部十八リットル缶工業組合より、消費元は企業が殆どであることでのリサイクル率の状況報告（非常に良い）
・西日本一般缶工業協同組合より、大口缶の回収がスムーズに出来ればリサイクル率も良くなる方向へ
・その他、缶コーヒのアルミ缶移行について
これらも4S会各業界も厳しい状況の中で引き続き情報交換し協力していくことで会議を終えた。

平成25年5月～11月までの一般缶生産出荷実績 (単位:t)

	年 月	生 産	出 荷		在 庫
			販 売	その他	
経済産業省データ	25. 5	5,941 (6,350)	5,898 (6,432)	112 (124)	8,024 (8,551)
	6	5,840 (6,468)	5,967 (6,527)	103 (141)	7,735 (8,387)
	7	5,715 (6,477)	5,722 (6,595)	96 (119)	7,565 (8,169)
	8	5,268 (5,516)	5,371 (5,707)	128 (97)	7,330 (7,982)
	9	5,752 (6,235)	5,474 (6,066)	141 (128)	7,446 (8,146)
	10	6,722 (6,547)	6,345 (6,126)	140 (127)	7,603 (8,429)
	11	6,955 (6,873)	7,132 (7,211)	175 (116)	7,210 (7,962)
連合会データ	25. 5	3,633 (3,755)	3,541 (3,684)		4,104 (3,822)
	6	3,758 (4,025)	3,669 (3,910)		4,101 (3,978)
	7	3,842 (3,975)	3,794 (4,024)		4,103 (3,871)
	8	3,564 (3,710)	3,487 (3,794)		4,105 (3,820)
	9	3,791 (3,876)	3,653 (3,819)		4,166 (3,938)
	10	4,534 (4,484)	4,483 (4,299)		4,167 (4,049)
	11	4,635 (4,513)	4,759 (4,504)		4,036 (4,034)

()内は前年同月実績

経済産業省データは同省大臣官房調査統計グループ缶工業動態統計室編鉄鋼統計月報より転載

謹賀新年

(順不同)

北海製罐株式会社

代表取締役社長 久保田裕一
東京都千代田区丸の内二二二
丸の内三井ビル
電話〇三(三二一三)五一八〇
FAX〇三(三二一三)五一二六

新日鐵住金株式会社

代表取締役社長(COO)
友野 宏
東京都千代田区丸の内二一六一
電話〇三(六八六七)四一一一

全日本一般缶工業団体連合会

会長 渋谷明彦
副会長 定村 光
副会長 池田祥三
東京都台東区台東一六一六
第一古茂田ビル2F
電話〇三(五八一七)七三八八

東日本一般缶工業協同組合

代表取締役社長 林田英治
東京都千代田区内幸町二二二三
日比谷国際ビル
電話〇三(三五九七)三一一一

東洋鋼板株式会社

代表取締役社長 田中厚夫
東京都千代田区四番町二一一二
電話〇三(五二一一)六二一一

西日本一般缶工業協同組合

理事長 渋谷明彦
大阪府大阪市北区天神橋一四一七
千代田第一ビル
電話〇六(六三三三)一九七三
FAX〇六(六三三三)一九六七

東洋製罐株式会社

代表取締役社長 中山伊知郎
東京都品川区東五反田二一八一
電話〇三(四五一一)二〇二二
FAX〇三(三三八〇)八一六六

中部製罐工業協同組合

理事長 池田祥三
愛知県瀬戸市安戸町一三一八
電話〇五六一(八四)四八五八
FAX〇五六一(八四)四八五八

全日本金属印刷工業協同組合連合会

会長 中田正和
東京都墨田区業平一一二一六
本所ビル二階
電話〇三(三六二六)二四一一
FAX〇三(三六二六)二五〇二

東京都鋳力地金商業協同組合

理事長 國分 滋
東京都中央区日本橋大伝馬町一七
電話〇三(三六六三)八三五七
FAX〇三(三六六三)八三五八

寺島製缶工業株式会社

代表取締役 定村 光
東京都葛飾区立石二二五一一
電話〇三(三六九三)〇八四一
FAX〇三(三六九四)七七五九

株式会社ヒロハマ

代表取締役社長 本多三郎
東京都墨田区石原二二八一一
電話〇三(三六二五)一六八〇
FAX〇三(三六二五)一六八八

エヌエス金属工業株式会社

代表取締役社長 中田則彦
茨城県つくば市緑ヶ原四一六
電話〇二九(八四七)七二二〇
FAX〇二九(八四七)六七七九

江戸川製罐株式会社

代表取締役 加島 裕
東京都江戸川区平井五十四六一九
電話〇三(三六一二)四一三一
FAX〇三(三六一七)五〇三四

金方堂松本工業株式会社

代表取締役社長 竹内雅夫
東京都台東区東上野一二八一一二
電話〇三(三八三一)一一九一
FAX〇三(三八三一)七一四九

齋藤製罐株式会社

代表取締役 齋藤光由
神奈川県横浜市瀬谷区本郷
電話〇四五(三〇一)五九一一
FAX〇四五(三〇一)五九三五

株式会社神宮製作所

代表取締役 神宮 善太郎
千葉県野田市上三ヶ尾二六一
電話〇四(七二五)一二六一
FAX〇四(七二五)三六三七

杉浦製罐株式会社

代表取締役 杉浦 由記夫
茨城県守谷市百合ヶ丘二四八〇七
電話〇二九七(四八)二五五一
FAX〇二九七(四八)二五五二

東邦金属工業株式会社

代表取締役 澤田 武史
東京都江戸川区松島四一三七一六
電話〇三(三六五四)八九一一
FAX〇三(三六五四)七三四八

中川製罐株式会社

代表取締役社長 中川 太郎
東京都文京区湯島三一六一一三
電話〇三(三八三六)〇六九一
FAX〇三(三八三六)〇六九三

日進製缶株式会社

代表取締役 小黒保満
埼玉県八潮市南後谷五〇八一二
電話〇四八(九三五)三五六一
FAX〇四八(九三一)一八四九

水戸部製缶株式会社

代表取締役社長 水戸部 武寿
東京都千代田区神田和泉町
電話〇三(三八六六)一一三一一
FAX〇三(三八六六)二三三八八

明和金属工業株式会社

代表取締役 渋谷明彦
大阪府高石市取石七一一一六
電話〇七二(二七四)一一〇一
FAX〇七二(二七一)六三六五

三国金属工業株式会社

代表取締役 辻 亘彦
大阪府豊中市豊南町西四一七二〇
電話〇六(六三三三)〇二五一
FAX〇六(六三三三)〇二五五

平和製罐株式会社

代表取締役 中田成一
大阪府大阪市中央区道修町
電話〇六(六三三三)二二八八
FAX〇六(六三三三)二二八九

生野金属株式会社

代表取締役 小西克彦
大阪府高石市高砂三一二四
電話〇七二(二六八)〇七七七
FAX〇七二(二六八)〇七八二

謹賀新年

(順不同)

善友金属株式会社

代表取締役 馬場 康之

大阪府大阪市淀川区加島

電話 〇六(六三〇九)四〇三二
FAX 〇六(六三〇一)二一〇〇

日東製罐販売株式会社

代表取締役社長 安藤 宏行

愛知県岡崎市宮地町字郷東三九

電話 〇五六四(五一)一五六一
FAX 〇五六四(五一)一五六三

エイコー株式会社

代表取締役社長 菊井 治

埼玉県草加市苗塚町五七七

電話 〇四八(九二二)八三七三
FAX 〇四八(九二二)八三七五

株式会社城北鋳力 印刷工業所

代表取締役社長 竹腰 忠臣

千葉県野田市木間ヶ瀬二五〇一

電話 〇四七一(九八)二六一一
FAX 〇四七一(九八)二七七九

江戸川製罐工業株式会社

代表取締役 渡邊 静雄

大阪府大阪市鶴見区今津北

電話 〇六(六九六八)六七六一
FAX 〇六(六九六二)三二五八

光工業株式会社

代表取締役社長 吉田 富美男

広島県東広島市志和町冠一六五二

電話 〇八二(四三三)五四〇一
FAX 〇八二(四三三)五四五三

高野興業株式会社

代表取締役社長 高野 康弘

東京都墨田区本所一二一三

電話 〇三(三六二二)一一六六
FAX 〇三(三六二二)六二六四

株式会社MOBY

代表取締役社長 清野 泰樹

千葉県市川市塩浜一四

電話 〇四七(三〇六)〇二一〇
FAX 〇四七(三〇六)〇二一九

株式会社江連金属印刷所

代表取締役 江連 一

千葉県松戸市上本郷八一

電話 〇四七(三六二)〇一三五
FAX 〇四七(三六二)八七一五

大阪製罐株式会社

代表取締役社長 清水 雄一郎

大阪府東大阪市岩田町二一三二八

電話 〇六(六七二三)五五四五
FAX 〇六(六七二五)三四七〇

日西製罐株式会社

代表取締役 矢谷 満里子

大阪府大東市御領三一五二〇

電話 〇七二(八七四)〇九七一
FAX 〇七二(八七五)四二五二

富安株式会社

代表取締役社長 伊藤 潤一

東京都墨田区太平四一五一五

電話 〇三(五六一一)七七五一
FAX 〇三(五六一一)七七五〇

大成ブリキ印刷株式会社

代表取締役社長 中田 正和

茨城県稲敷郡河内町長竿富田四四六二

電話 〇二九七(八六)二二〇一
FAX 〇二九七(八六)二四二〇

新里機工株式会社

代表取締役 金澤 幸一

埼玉県川口市東領家四一七一

電話 〇四八(二九一)九〇九七
FAX 〇四八(二九一)九〇九八

奥村製罐株式会社

代表取締役 奥村 康彦

京都府綴喜郡井手町大字多賀

電話 〇七七四(八二二)〇七七八
FAX 〇七七四(八二二)四三二四

山雄製缶工業株式会社

代表取締役 山本 浩之

大阪府大阪市北区大淀中

電話 〇六(六四五一)五一四一
FAX 〇六(六四五一)〇八二一

中村商事株式会社

代表取締役社長 中村 定

東京都千代田区神田和泉町一七二

電話 〇三(五六八七)五九一一
FAX 〇三(五六八七)六一五五

東都金属印刷株式会社

代表取締役 菅谷 誠一

千葉県船橋市小野田町一五二一三

電話 〇四七(四五七)五四六一
FAX 〇四七(四五七)七二三八

株式会社N・P・W技研

代表取締役社長 山本 健士

三重県伊勢市佐八町八九四

電話 〇五九六(三九)一一三三
FAX 〇五九六(三九)一一三六

下宮金属工業株式会社

代表取締役 下宮 義弘

大阪府堺市堺区南島町三丁一三一

電話 〇七二(二二三)八一二〇
FAX 〇七二(二二三)八一四〇

有限会社山野初製缶所

代表取締役 木下 光美

大阪府八尾市太田七一一〇

電話 〇七二(九四八)〇五五八
FAX 〇七二(九四八)二八五五

明邦鋼業株式会社

代表取締役社長 田中 康

埼玉県越谷市新川町一一一四五

電話 〇四八(九八七)〇七〇一
FAX 〇四八(九八七)〇七三〇

富安金属印刷株式会社

代表取締役社長 菊井 治

埼玉県草加市苗塚町五七七

電話 〇四八(九二五)一五八一
FAX 〇四八(九二五)二六二〇

松本金属工業株式会社

代表取締役 松本 勝俊

大阪府大阪市北区天満二一一一八

電話 〇六(六三三三)〇九四三
FAX 〇六(六三三三)七六四〇

新高垣製缶株式会社

代表取締役 高垣 悦夫

奈良県天理市永原町五五番地

電話 〇七四三(六七)三一三一
FAX 〇七四三(六七)三一四一

株式会社ライトハウス 金属工場

代表取締役 岩橋 久直

大阪府大阪市鶴見区今津中

電話 〇六(六九六三)〇四四一
FAX 〇六(六九六八)二二九八

スチールリーフ株式会社

代表取締役社長 茂木 孝之

東京都葛飾区亀有五一四八一一五

電話 〇三(三六二〇)八〇三〇
FAX 〇三(三六二〇)八〇六〇

二橋プリント株式会社

代表取締役 二橋 英之

埼玉県三郷市彦川戸一三八一六

電話 〇四八(九五三)二三六一
FAX 〇四八(九五三)五四二一

株式会社井上博商店

代表取締役社長 井上 紀人

大阪府大阪市住吉区万代東

電話 〇六(六六九一)一一二五
FAX 〇六(六六九一)一一二七

謹賀新年

(順不同)

株式会社 神 光

代表取締役 小河 薫

大阪府吹田市南正雀一―二八―一
電話〇六(六三八)四四六六
FAX〇六(六三八)六〇一一

新キヨイ鋼業株式会社

代表取締役 渡邊 治樹

大阪府松原市三宅西四―五四三―一
電話〇七(三三三)二一八一
FAX〇七(三三三)〇二五二

是松鋼商株式会社

代表取締役 是松 重敏

大阪府東大阪市楠根二―六―三
電話〇六(六七四)二二六―一
FAX〇六(六七四)〇四〇〇

三幸商事株式会社

代表取締役 武田 有広

大阪府大阪市西区北堀江
電話〇六(六五四)九三三一
FAX〇六(六五四)三五八八

日東金属工業株式会社

代表取締役 大久保 八城

大阪府八尾市太田七―一六
電話〇七(九四九)六七一一
FAX〇七(九四九)六七五九

西部容器株式会社

代表取締役社長 川島 湊

大阪府摂津市別府二―三一―一八
電話〇六(六三四)一六五一
FAX〇六(六三四)七二二八

◆東日本一般缶工業協同組合 C P S M 会

平成25年11月6日、筑波カントリークラブで第55回CPSTM会を開催した。今回の参加者は23名。成績は次の通り。

優勝 関根浩二氏 (須貝金属工業所)

二位 二橋英之氏 (二橋プリンツ)

三位 江連一義氏 (江連金属印刷所)

次回は平成26年4月16日、取手国際ゴルフ倶楽部で行う予定。

◆西日本一般缶工業協同組合 缶友会ゴルフ会

平成25年10月17日、京都府の田辺カントリー倶楽部で晴天の下、第142回缶友会ゴルフ会を開催した。成績は次の通り。

優勝 増田竜介氏 (井上博商店)

二位 武田和久氏 (三幸商事)

三位 是松一郎氏 (是松鋼商)

次回は平成26年5月に行う予定。

SKT会ゴルフ

平成25年11月21日、大阪府の池田カントリー倶楽部で第48回SKT会ゴルフを開催した。成績は次の通り。

優勝 辻本年克氏 (ライトハウス金属工場)

二位 清水雄一郎氏 (大阪製罐)

三位 小林喜彦氏 (新キヨイ鋼業)

次回は平成26年11月に行う予定。

平成25年8月から平成26年1月までの行事

〔東日本一般缶工業協同組合〕

平成25年

第1回総務委員会

常任理事会

第2回PR委員会

第2回流通委員会

事務局局長協会「研修会」

第3回PR委員会

第4回理事会(役員会)

東京中央会「上期情報連絡員報告会」

事務所移転

第2回活路開拓委員会

東京中央会「平成25年度表彰式」

組合士協会「研修会」

教育技術講習会「プレス加工のトラブル対策」(1回目/全4回)

CPSTM会打合せ

事務局局長協会「職員交歓会」

事務局長協会「組合士協会」合同研修会

第55回CPSTM会

第3回教育技術委員会

第2回総務委員会

第5回理事会(役員会)

忘年会

組合士協会「役員会」

中小企業関係6団体「日本再興! 中小企業成長促進大会」

平成26年

東京中央会「新年賀詞交歓会」

東京都紙器工業協同組合「新年会」

第6回理事会(役員会)

関東経済産業局(三役挨拶)

〔西日本一般缶工業協同組合〕

平成25年

役員会

合同部会

4S会

缶友会ゴルフ

SKT会ゴルフ

役員会

平成26年

大阪金属印刷工業協同組合

「新年五礼会」

組合新春懇親会

合同部会・技術交流会

平成25年

会計監査

平成24年度通常総会

納涼会

理事会

理事会・忘年会

平成26年

理事会・新年会

〔全日本一般缶工業団体連合会〕

平成25年

経済産業省鉄鋼課業況ヒアリング

鉄鋼製品団体協会幹事会

スチール缶連絡協議会

「エコプロダクツ2013」

出展者説明会

第3回東日本一般缶PR活動

推進協議会

第2回全日本一般缶PR活動

推進協議会

第38回全国流通委員会・部会

協議会(東京)

スチール缶リサイクル協会

「記者説明会」

スチール缶リサイクル協会

「エコプロダクツ2013」

「エクスプロダクツ2013」

展ブースWG打合せ会

第4回東日本一般缶PR活動

推進協議会

鉄鋼製品団体協会「建築研究

所見学」

第5回東日本一般缶PR活動

推進協議会

正副会長会議

「エコプロダクツ2013」

平成26年

ドラム缶工業会「新年賀詞交歓会」

三役年賀挨拶回り

全国十八リットル缶工業組合

連合会「新年賀詞交歓会」

第3回全日本一般缶PR活動

推進協議会
新年賀詞交歓会
スチール缶連絡協議会

平成26年2月から7月までの行事予定

〔東日本一般缶工業協同組合〕

平成26年

東京都経営支援課「中小企業支援・施策説明会」

事務局局長協会「新年交流会」

教育技術講習会「プレス加工のトラブル対策」(2回目/全4回)

第34回優良従業員表彰式

事務局局長協会・組合士協会「合同研修会」

第7回理事会(役員会)

事務局局長協会「定期総会」

第56回CPSTM会

組合士協会「役員会」

第1回理事会(役員会)

第1回「一般缶シンポジウム」

第36回通常総会

東京中央会「第62回通常総会」

第2回理事会(役員会)

〔西日本一般缶工業協同組合〕

平成26年

4S会ゴルフ

缶友会ゴルフ

第46期定時総会

7月上旬 合同部会

〔全日本一般缶工業団体連合会〕

2/6 鉄鋼製品団体協会「研修会・新年会」

3/7 第4回全日本一般缶PR活動

推進協議会

3/7 役員会

6/13 第36回定時総会

7/4 第2回缶友会

2/21 研修旅行「新日鐵住金(株)名古屋製鉄所」

組合伝言板

《代表者交代》

(西日本組合)

大阪製罐株式会社

代表取締役社長 清水雄一郎

平成25年10月

《社名変更》

(一般賛助会員)

日鉄住金物産(株)

(旧日鐵商事(株))

平成25年10月

（連合会オリジナルクッキー缶が話題に）
**和のデザインが大好評。
継続販売も順調な滑り出し！**

全日本一般缶
工業団体連合会
事務局より

長い低迷が続いていた日本経済。ここへ来てようやく景気回復の兆しも見えてきたといわれています。そうした中、連合会企画のオリジナルクッキー缶による缶商品啓発活動が順調な滑り出しを見せています。

昨年10月より開始した本事業は、日本の伝統絵画である「浮世絵」の中から喜多川歌麿の「名所腰掛八景 鏡」をデザイン、中身は泉屋のクッキーという、魅力的なコンセプトで企画を進めました。また、材料、印刷、製缶、宣伝広報など、多くの方々のご支援と、連合会所属員会社、特別賛助会員、一般賛助会員、協力会員など、たくさんの方のご協力のもとに、「第1弾」として製造の5千個は完売という素晴らしい成果を上げることができました。昨年11月には東京・日本橋浜町の明治座で一般のお客様向けに試験販売を試み、その結果、箱菓子部門で月間売上第3位に入るほどの好評を得ました。また雑誌では「週刊東洋経済」「経済界」「月刊地域産品ジャーナル」に紹介記事が掲載されるなど、多方面で注目され、予想以上の反響があったことを報告いたします。

こうした経緯をふまえ、「第1弾」の追加5千個の継続販売を決定し、すでに年

初需要に対応していますのでこれからも皆様方のご協力を引き続きお願いいたします。

また、4月からは、新たに葛飾北斎の「富嶽三十六景、神奈川沖浪裏」をデザインした「第2弾」を登場させる予定にしています。

こうした活動が、美しさ、環境性能、機能性に優れた「一般缶商品」の需要喚起の大きなうねりとなるべく、組合事務局でも総力を挙げて取り組んでまいります。今後ともよろしくお願いいたします。



オリジナルクッキー缶「第1弾」継続販売商品。
中に缶商品のメリットを紹介する「しおり」が入っています。

全日本一般缶工業団体連合会

「エコプロダクツ2013」に出展

5千人の来場者に 一般缶をPR!

全日本一般缶工業団体連合会は、一般缶PR事業活動の一環として、平成25年12月12日～14日までの3日間、東京ビッグサイトで行われた「エコプロダクツ2013」にスチール缶リサイクル協会、全国十八リットル缶工業組合連合会と共同出展した。

同展示会は企業の環境への取り組みが一堂に集まる、日本を代表する環境総合展。15回目の今回は「今つくる地球の未来」がテーマ。初日には天皇、皇后両陛下が仙台市産業振興事業団などのブースを視察された。

当ブースでは「スチール缶はリサイクルの優等生」を掲げ「一般缶」「飲料缶」「十八リットル缶」を解説パネルとともに展示した。3日間の来場者は16万9千人。当ブースには前回を上回るおよそ5千人の方々が来場し、「スチール缶リサイクルクイズ」に一喜一憂しながら挑戦していた。初日、2日目は小中学生、最終日は家族連れでにぎわい、3日間にわたり、エコに貢献する「一般缶」をPRし、大盛況のうちに終了した。



新日鉄住金の宗岡正二会長も視察



来場者で混み合うスチール缶ブース